

384

については、いんち余裕が無いと見へる。

六月十九日(金)。

今日、立退先の North Portland の日本人 Assembly Center から、突然 手紙の接し。大西昌子嬢から。父を逝去後における彼女一家の心境及び現在直面する社会状況についての感慨、さては僕の健康に対する憂を専らに亘って、例の如く條理整然と簡潔中にも、十分意を盡した書翰である。どうして僕のアドレスを知ったのか、書でミゾラに託したお母さんのお菓子類を送って貰ったに對し、一帖の御状と並に返り今日迄に世にたてられた。昌子は僕の持ち社で廿幾年と勤めて働いて失礼、いつも其明敏に感謝も、私に敬意を表してゐたのだ。文面を読むと、父を存命中、二世の evaluation は絶對にいいと父から言はれ且つ信じてゐたけれど、経営のお利便に分に相當困難がらつたために解せられる。彼女の好意は忘れようできまい。

つ
ハ
ワイ
島
身
稱
崎
氏
胞
を
迎
へ
て
お
か
い

一
廿
日
無
儀

六月廿日(土)。

おごうさんから今日返書が来た。去る十二日落合の昌子嬢の次で十三日おごうさん宛、宛先の返事。今回物にあり、Foster Hotel 置いて来た黒皮の Brief case、時計巻其他二三品の郵送がし付、太お利便の night clerk Johnson 氏